



奥 奥会津ロックフェスティバル2012 会津只見の大自然に歓声が響いた

只見川電源流域振興協議会が主催する「奥会津ロックフェスティバル2012」が9月29日に季の郷湯ら里で開かれ、約500人が来場、盛り上がりを見せました。出演されたアーティストの個性的な楽曲が披露されるたびに会場は大きな拍手と歓声につつまれました。最後に出演した「おひつじ座流星群」の皆さんは「みんなで励まし合い、支え合い、奥会津を、東北を、日本を元気にしよう！」とメッセージを送りました。来年は9月1日に行われる予定です。



▲アーティストと来場者がひとつになった「奥ROCK」

只 トリムウォーク&トリムラン 見の大自然と紅葉を眺めウォーキング

只見町商工会が主催する「自然首都・只見」トリムウォーク&トリムランが青少年旅行村いこいの森をスタートとゴールに、只見川河畔や只見湖周辺をコースとして行われました。競技種目は3.5km、5km、10kmの3コースで競われ、参加者は自分の申告した時間に近いタイムでゴールできるよう、マイペースで完走・完歩していました。また、ゲストに「森末慎二さん」や「風間深志さん」が招かれ競技に参加、紅葉を眺めながら笑顔で歩いていました。



▲只見の秋を感じながら笑顔で歩く森末さんと参加者

郷 奥会津只見うまいもんまつり 土料理やご当地グルメに舌鼓

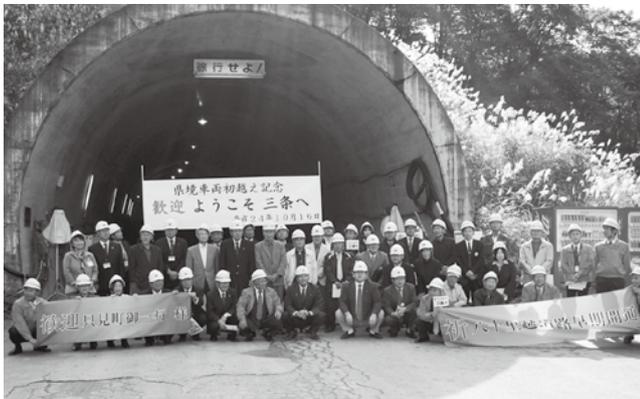


▲晴天のもとグルメと紅葉を満喫した来場者

さわやかな秋空が広がった10月13日から14日の二日間、青少年旅行村いこいの森で「奥会津只見うまいもんまつり」が行われ、町内外から大勢の方々が詰めかけ、郷土料理やご当地グルメを味わいました。只見町からは、味付マトンケバブをはじめ、新そばやそばやきもち、イワナ料理など郷土料理が出品、さらに県内各地のご当地グルメも集合、訪れた方は、思い思いに店をまわり、有名グルメを満喫していました。

車 八十里越え視察見学会 両でのR289号八十里越え県境初越え祝う

只見町商工会が主催する「八十里越え視察見学会」が10月16日から17日の二日間行われました。参加者は、福島県側が玉井章南会津地方振興局長はじめ40名、新潟県側が國定勇人三条市長はじめ36名で、福島県側の参加者はマイクロバスで国道289号県境に移動、7号橋梁や9号トンネルの工事現場を視察し、9号トンネルを通過、バスでの県境初越えを実行しました。新潟県側の8号トンネル付近で國定三条市長らと合流し歓迎が行われました。



▲八十里越え道路の早期開通を願った参加者

ピ 福島県ファミリーシアター バ!ムジカと「よろこびの歌」を歌おう

教育委員会では、福島県ファミリーシアター音楽公演会を10月9日に朝日小学校体育館で開き、町内の小学生や保育所の子どもたち、先生、保護者の方々が、音楽グループ「ピバ!ムジカ」の皆さんの歌声やヴァイオリン、ピアノの演奏を楽しみました。披露された歌は「千の風になって」や「ふるさとの四季メドレー」など親しみのある楽曲が多く、「よろこびの歌」は全員合唱で歌いました。最後に「歌を歌うと勇気が出ます。みんなと歌ってください」と話されました。



▲華麗な歌声と楽器演奏を披露するピバ!ムジカの皆さん

こ しあわせ金婚夫婦表彰式 れからも末長くお幸せに…



▲金婚を迎えられたご夫婦の皆さん

只見町老人クラブ連合会などが主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が10月17日に朝日地区センターで開かれ、金婚を迎えられた町内のご夫婦37組のうち32組が出席されました。角田定平町老人クラブ連合会長のあいさつに続き、只見・朝日・明和の各地区代表のご夫婦に、角田連合会長から表彰状や記念品が贈られました。受賞者代表の飯塚恒夫さん、孝子さんご夫婦が「皆様のおかげです。長生きし町のために尽くします」と謝辞を述べました。

第 戊辰役東軍殉難者慰霊祭 20回の慰霊祭が只見で行われる



▲長岡市河井継之助記念館館長「稲川明雄氏」の講演

第20回目の戊辰役東軍殉難者慰霊祭が10月13日に医王寺(塩沢)で執り行われ、町内外から約90名が出席しました。慰霊祭では妙円寺(長岡市)の「内山慶法師」が読経されたあと、長岡藩家老河井継之助のひ孫「根岸千代子氏(アメリカ在住)」が祭文を奉読、続いて目黒町長はじめ関係者が焼香、最後に箱館新撰組関川大二郎のひ孫「郡義武氏」が吟詠され、殉難者を弔いました。この日は、河井継之助記念館で講演会も行われ大勢参加しました。